

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【公開番号】特開 2002-256452 (P2002-256452A)  
 【公開日】平成 14 年 9 月 11 日 (2002.9.11)  
 【出願番号】特願 2001-313360 (P2001-313360)  
 【国際特許分類第 7 版】

C 2 3 C 26/00  
 C 2 3 C 4/10  
 C 2 3 C 18/06  
 C 2 3 C 18/12  
 F 0 1 D 5/28  
 F 0 2 C 7/00

【F I】

C 2 3 C 26/00 K  
 C 2 3 C 4/10  
 C 2 3 C 18/06  
 C 2 3 C 18/12  
 F 0 1 D 5/28  
 F 0 2 C 7/00 C  
 F 0 2 C 7/00 D

【手続補正書】  
 【提出日】平成 16 年 9 月 21 日 (2004.9.21)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

局部的に遮熱コーティング (16) が剥離 (20) した部品 (10) の遮熱コーティングを補修する方法であって、当該方法が、

バインダー中のセラミック粉末を含有するセラミックペースト (24) を、局部的な剥離 (20) により露出した部品 (10) の表面領域 (22) に塗工する段階、及び

上記バインダーを反応させて、バインダーの反応により形成される材料からなるマトリックス中にセラミック粉末を含有する補修コーティング (26) で部品 (10) の表面領域 (22) を被覆する段階を含んでなる方法。

【請求項 2】

前記塗工段階の前に、部品 (10) の表面領域 (22) を洗浄して、遮熱コーティング (16) の付着した残留断片は除去せずに汚染物質を除去する段階をさらに含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記セラミック粉末がアルミナ約 5 ~ 85 重量%、シリカ 0 ~ 約 40 重量%、ジルコニア 0 ~ 約 60 重量%、ハフニア 0 ~ 約 55 重量%、マグネシア 0 ~ 約 55 重量% 及びチタン酸亜鉛 0 ~ 約 25 重量% からなる、請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

前記表面領域 (22) が部品 (10) 上の酸化物スケール (18) によって少なくとも

部分的に画成される、請求項 1 記載の方法。